

第3期 ODC分析研究会 活動報告会

クロージング

～本日のふりかえりと

次期ODC分析研究会について～



2020/10/01

岡本 慎司 (京セラ株式会社)

活動報告会について

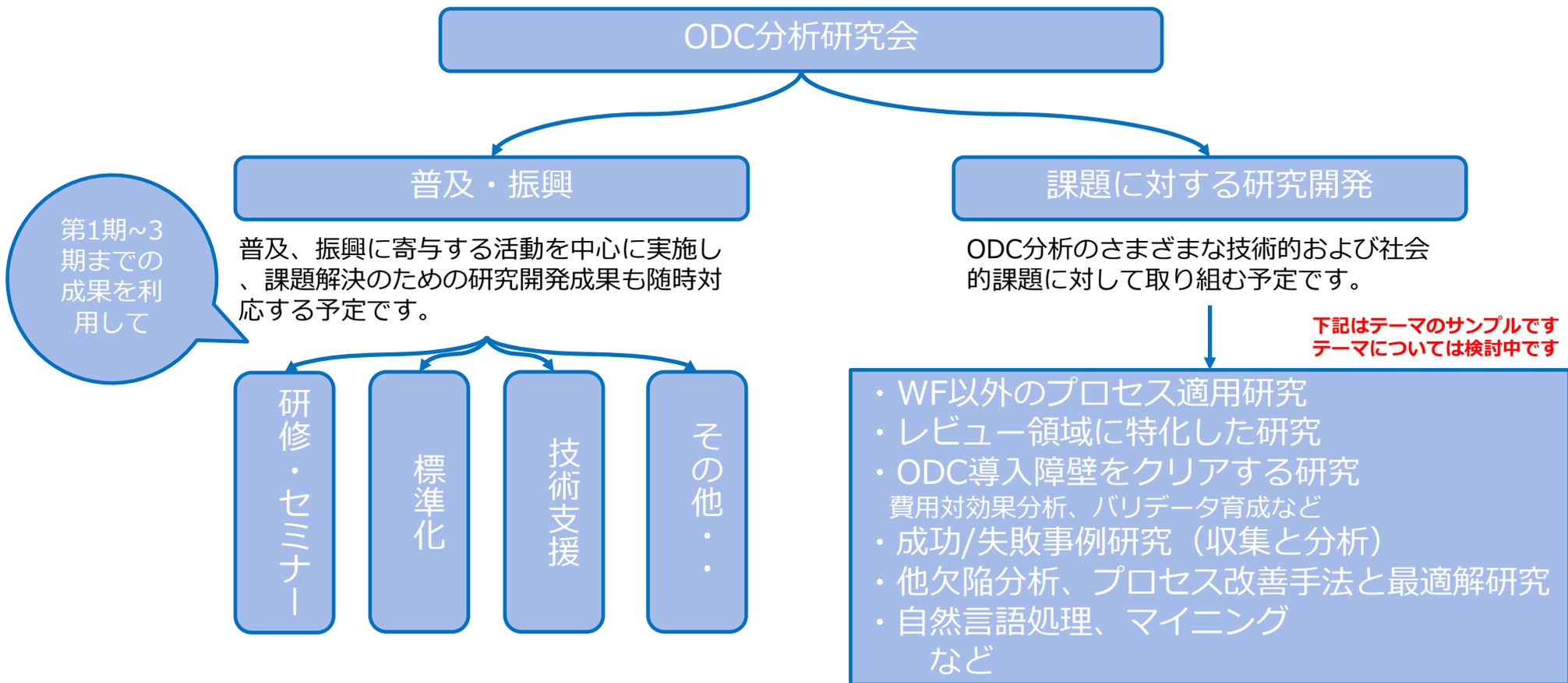
本日は、活動報告会に参加いただきありがとうございます。
ODC分析研究会の3期の活動内容をご理解いただけましたでしょうか。

本日のトピックとしては、

- ・ 第1期~3期の成果を集約した「ODC分析」の書籍が発行できたこと
- ・ ODC分析 適用の事例、企業の取組みが紹介されました
- ・ 第3期の研究会は、2部制（特別講義と分科会）で実施されたこと
- ・ 第1回~8回までの特別講義と活動が報告されたこと

ODC分析研究会が目標とする役割

ODC分析研究会は下記のような役割を担うように検討、準備を進めています。



普及・振興

第1期～第3期の成果を利用して、普及・振興を目指します。また、第4期以降の成果も随時適用することを予定しています。

研修・セミナー

- ・ ODC分析の基礎編を「教科書」に準じた研修／セミナーとして開催する準備を進めています。
- ・ ODC分析の応用編やバリデーター育成、課題に対する研究開発成果などの教材開発を推進。

標準化

- ・ ODC属性の適訳日本語化、バージョンの適用最適解*¹、拡張属性*¹など
- ・ 課題に対する研究開発成果を標準化

技術支援

- ・ ODC分析適用組織への技術支援（まずは方法など技術支援できる内容を検討する）

その他・・・

*¹ 案です

課題に対する研究開発

ODC分析の適用に対する課題研究や先進研究など、少数のテーマ（最大3テーマまで）を絞り、研究テーマごとに研究員を募集する予定です。（詳細は決まり次第、ご案内します。）

研究テーマ

- ・ ODC分析の身近な課題から、ODC分析技術の基礎/応用研究、ソフトウェア開発プロセスの変化に適用するための研究など、実現性、優先度を検討しながら選定を進めます。

研究員募集

- ・ 1年間の研究サイクル（テーマによっては年をまたいで継続）で、1テーマ10名以下で研究を実施
- ・ リモートでの参加も対応する予定です。

研究成果のゴール

- ・ 研究成果は、シンポジウムなどに投稿、採録を目指します。

研究テーマの選定と募集時期

- ・ 募集するテーマの決定や募集期間などは調整中です。研究会への参加費用は当面無料の方針です。

EOF

本日はご参加いただき 誠にありがとうございました。

- ・アンケートにご協力ください。
- ・ODC分析研究会への問合せやご要望など、どしどしお寄せください。
- ・この後、事務局から連絡事項がございます。